

§ 15 撤営の意味と撤営

●セッションの目標 (参加者はこのセッション終了時に次のことが達成できる。)

1. 撤営について、その意味を知り、その順序 (前日・当日) と手続を考え、それを実践する。(4-3-①)
2. サイトの清掃を行い、感謝の心で原状復帰を行う。(4-3-②)
3. 運搬及び倉庫への収納を考慮した、装備の梱包・パッキングを行い、倉庫に収納する。(4-3-③) 《➡ § 14》

●指導上のねらい・ポイント

1. 「撤営は次のキャンプの大切な準備である」。その順序は、「指導者のためのスカウトキャンプ」に詳しく出ているので、それを事前に確認させる。
2. サイトの清掃と現状復帰については、スカウトキャンプでは、その痕跡を一切残さないことを美徳としている。これって何のために？ ……これについては、講師のあなた自身で考えよう。
3. 前段は、前の § 14 で行ったのだ、ここでは実際に倉庫に収納することを考える。
4. 撤営は、単にキャンプを畳み、メンテし、収納するだけではない。キャンプ地借用返還の手続き、お世話になった方々へのお礼、キャンプ地への感謝、そして「班」としてのキャンプへの評価・反省が当然含まれることも理解する。

●セッション展開にあたっての留意点

- ◎スカウティングは教育活動であることを念頭に置いて、指導者として理解しておかなければならないことを強く意識させる。

●他のスタッフへの依頼事項

【他の講師に】

- ・備品の倉庫への搬入を 3. ②により行うので、その支援をお願いします。

●セッション構成と展開 (時間配分)

- 講義 (20 分) → 実習 (65 分) → まとめ (5 分)

《展開：講義》(15 分)

1. 撤営について、その意味を知り、その順序 (前日・当日) と手続を考え、それを実践する。(5 分)

- ①「撤営は次のキャンプの大切な準備である」とは
 - すなわち、物的には「次回のキャンプには、中味を確認することなく、それを安心して使える状態にしておくこと」とその習慣をつける (意識→段取り→実践→確認) ことである。
 - 精神的には、「感謝の心を込めて、すべき処置をして、大切に保管すること」である。
 - 施設 (キャンプ場) を借りる手続きがあるということは、当然、返すという手続きもある。
 - 順序としては、「指導者のためのスカウトキャンプ」に詳しく出ているので、それを事前に確認しておくこと。(P.85-88)

2. サイトの清掃を行い、感謝の心で原状復帰を行う。(5 分)

- ②サイトの清掃と現状復帰については、スカウトキャンプでは、その痕跡を一切残さないことを美徳 (誇り) としている。(→これもスカウト精神の1つ)
 - すなわち・・・
 - ・ゴハン粒 1 つ、工作紐の切れっ端 1 つ落ちていない状態
 - ・掘った溝や穴の痕跡が全く解らない状態
 - ・草が踏みつぶされた痕跡がない状態
 - ・そして、残すモノは素晴らしい思い出と「感謝の心」だけである。
 - ・・・というように、何ひとつ痕跡を残さないことを徹底することを伝える。
 - では、これって何のために？ ……それは、講師のあなたが考えよう。
 - 他の何・誰のためでもない。それは自分自身のため。自分の心の中にある「スカウティング・スピリッツ」のためなのである。「自分自身はスカウトである」という名誉と誇りのためなのである。
 - 我々はボーイスカウトである。「ボーイスカウトにお貸ししたあとはきちんと整備されている。さすがボーイ

スカウトさんですね。」とよく言われる。これは、我々の先輩たちが脈々と築いてきた結果として獲得できた「ボーイスカウトへの信頼」である。→スカウティングの伝統の継承

信頼を得るためにきちんと撤収をするのではない(受動的)。更なる信頼を我々の行動によって得るためである。我々の行動の結果が「信頼」を維持していくのである(能動的)。

→「最後の最後まできちんとやり遂げる」ことの意味と意義を、まさしく行動によって示している良い例である。

→1度失ってしまった「信頼」を取り返すのは、並大抵のことではできない。

3. 運搬及び倉庫への収納を考慮した、装備の梱包・パッキングを行い、倉庫に収納する。(5分)

①装備の梱包・パッキングは、前の §14 で行ったので、ここでは実際に倉庫に収納することを考える。

②どのように収納するか・・・何に(どんな点に) 着目するか

- ・湿気(乾燥; 湿気に強いモノは下に)
- ・頻度(頻繁に使うものは取り出しやすい位置に)
- ・形状(箱物→積載性、長いものは立てて、隙間の利用、)
- ・重量及びその影響(重いモノは下に、軽いモノは上に。つぶれて困るモノは重ねない)
- ・内容物が明確になっているか
- ・その他

4. 撤収点検(最終点検) は、制服で受ける。(5分)

①これもどうしてであろう? 是非考えていただきたい。

○制服を着ること、とはどういう状態を意味するのか・・・

⑩「撤収点検」とは、全ての撤営作業が終了して、キャンプサイトを撤退する準備ができたときに行う、キャンプとしての公式な点検である。→だから「制服」

⑪一切の痕跡を残さず撤営を完了した、自信とけじめを表す。→だから「制服」

⑫いつでも帰途につけるという「準備」が完了したみとを表す。→だから「制服」

⑬キャンプを過ごした野営地への感謝の心を改めてきちんと表す。→だから「制服」

⑭キャンプによって、自然によって成長をさせていただいたことを、気持ちを切り替えて振り返る(確かめる)ため →だから「制服」

→つまりスカウトの名にかけて、「名誉にかけて、最後の最後まできちんとやり遂げた」姿勢の表れとして、「スカウト」としての自信そして名誉の証として、自分を成長させてくれた感謝の表れとして・・・

「スカウト」であることを大いに意識させて受ける点検だからである。

○こう言うと、多分に精神性が前面に出てしまうが、何のためにキャンプを行うのか、自然から何を受け止めるのか、多くの人々の関わりをどう捉えるのか・・・を実体験するのが、スカウトキャンプであることを考えると、制服を着ることが持つ大きな意味が見えてくる。

《実習》(65分)

①方法としては、WB研修所の撤営と同様に、「撤営指示→整列→撤営許可」の段取りを踏む。

②この段階では、作業服で可。最終点検前に制服に着替える。

③セッション終了 10 分前には、最終点検を完了し、着座させ、まとめに入る。

《まとめ》(5分)

1. スカウトキャンプは、単に野営技能を身につける場ではないことがわかりいただけたと思う。

隊長として、最も大きく・大切なスカウトの教育の場である。

2. 何を身につける? そう、「スカウティング・スピリッツ」、スカウト精神である。

3. では、スカウティング・スピリッツとは何か? それは端的に言えば「ちかい」と「おきて」に言い表されている。そして、そこから派生する「スカウトとして持つべき」意識であり、情緒であり、姿勢等である。

それを、意識して実行し、繰り返し、自分の資質として定着させること。それを以て、社会に出て行き、いろいろな場面でそれを発揮し、周囲に良い影響を与え、社会をよりよい方向に導くこと。

→それが「スカウティング」である。